

平成27年度 横浜市学力学習状況調査（平成28年2月実施） 生活・学習意識調査の報告

横浜市全体の傾向

○学校のきまりを守る児童生徒の増加（23、25年度との比較）

- ・肯定的回答（「守っている」「どちらかといえば守っている」を合わせた回答）の増加
→特別活動の充実、小中学校の連携が進んだことによる学校間での緊密な情報交換や指導方針の確認、共通理解など、複数の取り組みが実を結んだ結果だと考えられます。

○学校図書館利用への関心の高まり

- ・学校図書館へ行くことに肯定的回答をする児童生徒の割合は、いずれの学年においても調査を開始した25年度から、毎年増加
- ・図書貸出冊数については、25年度から27年度までの2年間で1.7倍に増加
→25年度から学校司書配置が始まり、学校図書館の充実が進んだことによると考えられます。

～平成28年7月15日付 横浜市教育委員会記者発表資料より～

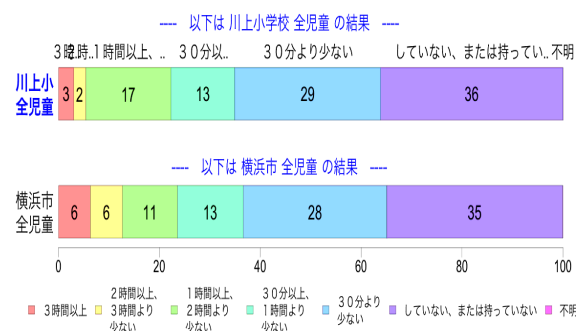
夏休み号では、教科調査の結果をお知らせしました。今月号では、本校の学校経営方針等に関わりがある部分をピックアップして、本校の生活・学習意識調査の結果をお知らせします。

本校でも「学校のきまりを守る児童の増加」が見られ、肯定的回答率はどの学年も90%を超え、市平均を大きく上回っています。また、「学校図書館利用の関心の高まり」は、本校でもその傾向がはっきりと表れています。学年が上がると肯定的回答率は下がる傾向にありますが、それでも70%を超え、低学年では90%を超えています。

【1日に携帯電話やスマートフォンを使って、インターネットやメールをどれくらいしていますか】

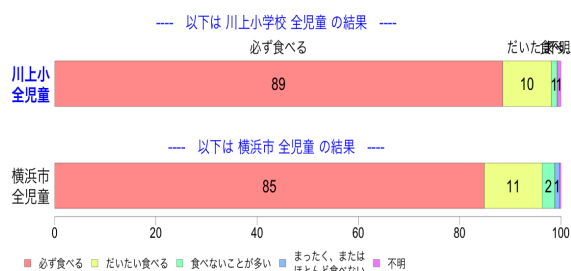
昨年度は、本校で所持している児童が市平均より少なかったのですが、今年度は所持している児童が高学年で増えました。なお、この調査は「ゲーム機やパソコンを使うこと、ゲームをする時間は除く」結果です。どの学年にもネットやメールを3時間以上している児童がおり、高学年では約半数が1時間以上していることが分かりました。適切なSNS利用方法を児童が身に付けているか、ご家庭への啓発の必要性を感じました。

※この調査項目は1, 2年生にはありません



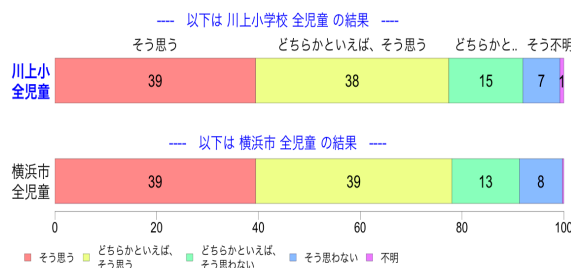
【朝食を毎日食べていますか】

今年度本校は学校保健委員会でもテーマとして「食」を取り上げています。どの学年も朝食を「必ず食べる」の割合は、市の平均を上回り、「だいたい食べる」も含めると、全校児童のほとんどが朝食を食べていることがわかります。ご家庭の協力を得ながらよい習慣を継続し、一歩進めて、食事の内容や質にも目が向くようにしていきます。



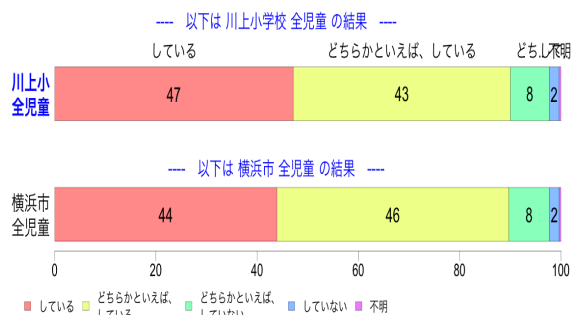
【自分にはよいところがあると思いますか】

本校の学校経営方針のトップに掲げている「自分のよさに気付き、たくましく生きる子を育てます」に深く関わる調査項目です。「よいところがある」と答えた本校の児童の割合は、ほぼ市の平均と同じでしたが、否定的回答がどの学年も20~30%あることがわかりました。自己肯定感がもてる場の工夫を続け、より自信をもって前向きに生活していくことができるよう支援していきます。



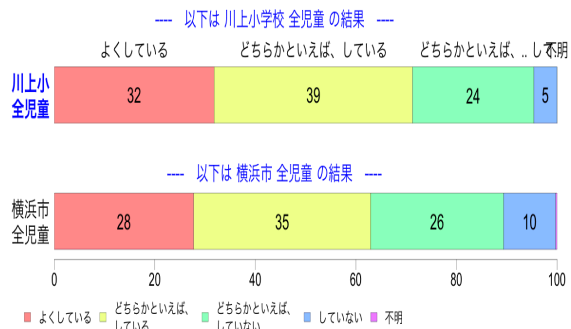
【人の気持ちを考えて行動するようにしていますか】

学校経営方針「思いやりをもって進んでかかわれる子を育てます」に深く関わる調査項目です。「どちらかといえばしている」を含めると、学校平均として90%以上となります。今年度の5, 6年生は「行動している」と答えた児童の割合が、他学年や市平均と比べて低くなっています。縦割り活動等様々な場面を通して、人の気持ちを考え、それを素直に行動に表すことができるよう促していきます。



【授業では自分の考えを発表していますか】

本校では「特別活動」の授業を核として「すすんで伝え合おうとする子の育成」に重点的に取り組んで3年目となります。昨年度に比べ、4年生以上で発表を「よくしている」の割合が増え市の平均を上回り、重点的取組の成果が表れてきたといえます。今後も伝えることに喜びを感じ、自分から発表したいという児童が増えるような授業づくりに取り組んでいきます。



【あいさつを自分からしていますか】

「している」と答えた児童の割合は、6年生以外の学年は市平均を下回っていました。過去5年間で推移をみると、年々挨拶がしっかりととはできていない傾向が見られます。今年度も児童運営委員会が中心となり「あいさつ運動」を学校で推進していきます。また、家庭・地域とも連携し、年齢に応じた気持ちのよい挨拶の仕方が身に付くようにしていきます。

